

# 東京メトロが取り組む大都市型MaaS 「my! 東京MaaS」について

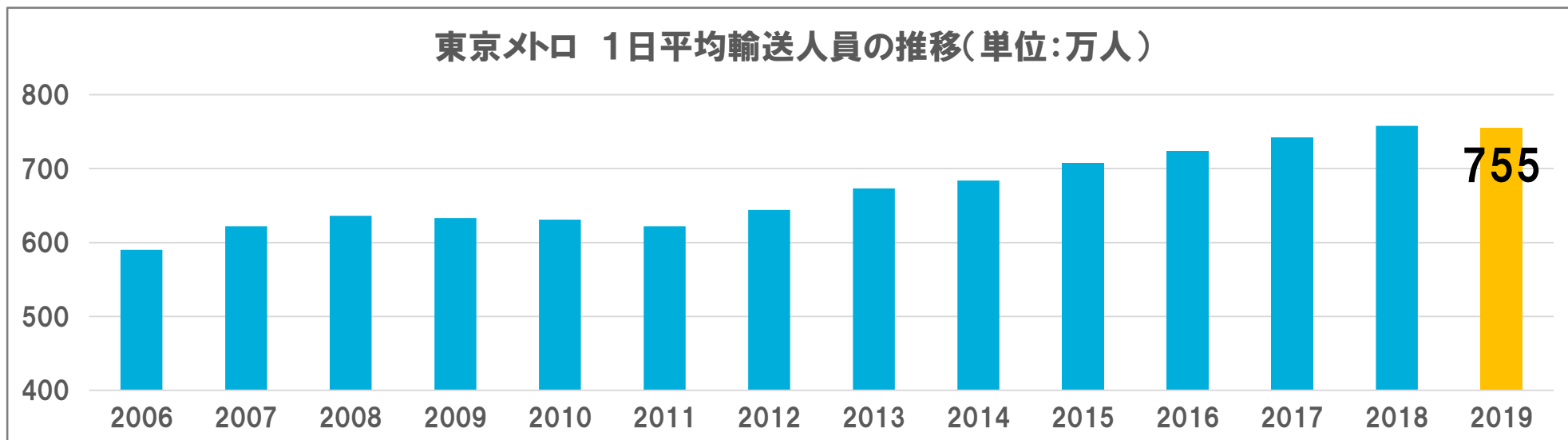
---



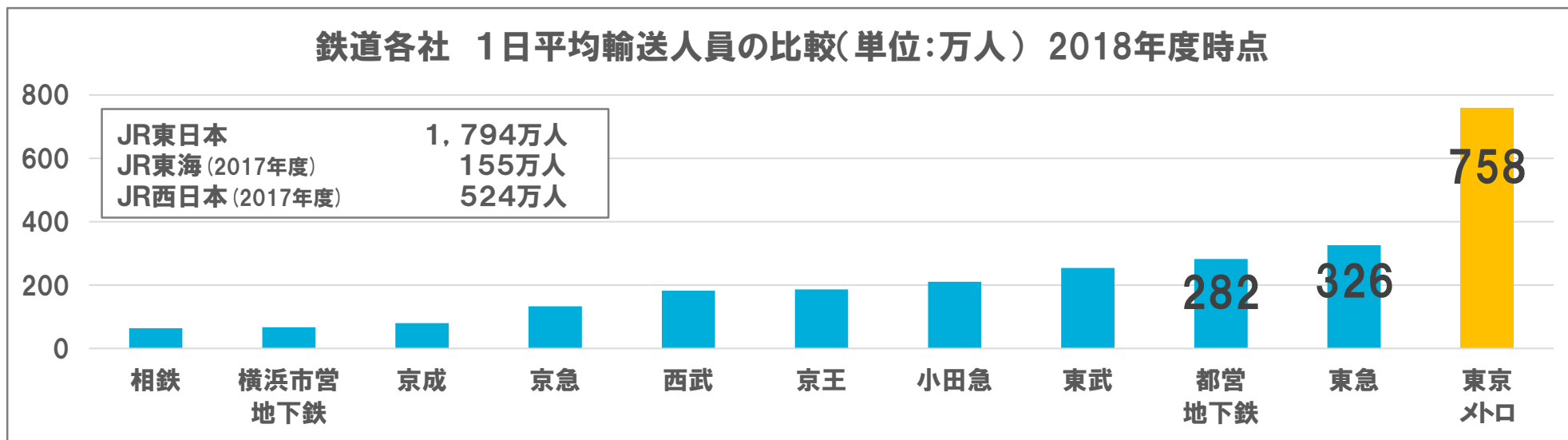
2020年12月1日  
東京地下鉄株式会社

設立	2004年(平成16年)4月1日
資本金	581億円
株主	政府(53.4%) / 東京都(46.6%)
就業人員数	9,573人(東京メトロ単体)
営業路線	1. <b>G</b> 銀座線(浅草～渋谷間) 14.2キロ 2. <b>M</b> 丸ノ内線(池袋～荻窪間) 24.2キロ(中野坂上～方南町間) 3.2キロ 3. <b>H</b> 日比谷線(北千住～中目黒間) 20.3キロ 4. <b>T</b> 東西線(中野～西船橋間) 30.8キロ 5. <b>C</b> 千代田線(北綾瀬～代々木上原間) 24.0キロ 6. <b>Y</b> 有楽町線(和光市～新木場間) 28.3キロ 7. <b>Z</b> 半蔵門線(渋谷～押上間) 16.8キロ 8. <b>N</b> 南北線(目黒～赤羽岩淵間) 21.3キロ 9. <b>F</b> 副都心線(小竹向原～渋谷間) 11.9キロ
路線距離	全線195.0キロ(営業キロ)
駅数	180駅〔うち地上駅21駅〕
車両数	2,716両
運輸成績	1日平均輸送人員755万人 (2020年3月末現在)

## 東京メトロ 1日平均輸送人員の推移(単位:万人)



## 鉄道各社 1日平均輸送人員の比較(単位:万人) 2018年度時点



出典：各社HPより

## 東京に適した大都市型MaaSへ取り組む必要

		都市圏における新たなモビリティ			地方圏における新たなモビリティ	
		大都市型	大都市近郊型	観光地型	地方都市型	地方郊外・過疎地型
前提条件	地域特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口:大</li> <li>人口密度:高</li> <li>交通体系:鉄道主体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口:大</li> <li>人口密度:高</li> <li>交通体系:鉄道/自動車</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口:ー</li> <li>人口密度:ー</li> <li>交通体系:ー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口:中</li> <li>人口密度:中</li> <li>交通体系:自動車主体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口:低</li> <li>人口密度:低</li> <li>交通体系:自動車主体</li> </ul>
	地域課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動ニーズの多様化</li> <li>訪日外国人の増加</li> <li>日常的な渋滞や混雑</li> <li>イベントや災害等に起因する突発的な混雑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラストワンマイル交通手段の不足</li> <li>イベントや天候等による局所的な混雑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光産業の活性化の必要性</li> <li>訪日外国人の急増</li> <li>既存公共交通の混雑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自家用車への依存</li> <li>公共交通の利便性・事業採算性の低下</li> <li>高齢者の移動手段確保</li> <li>運転手不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自家用車への依存</li> <li>地域交通の衰退</li> <li>交通空白地帯の拡大</li> <li>高齢者の移動手段確保</li> <li>運転手不足</li> </ul>

出典：国土交通省「都市と地方の新たなモビリティサービス懇談会」第6回(2019年1月17日)

大都市東京で  
MaaSに取り組む  
困難さ

- 1 通勤、買物、観光など、多様な移動シーン

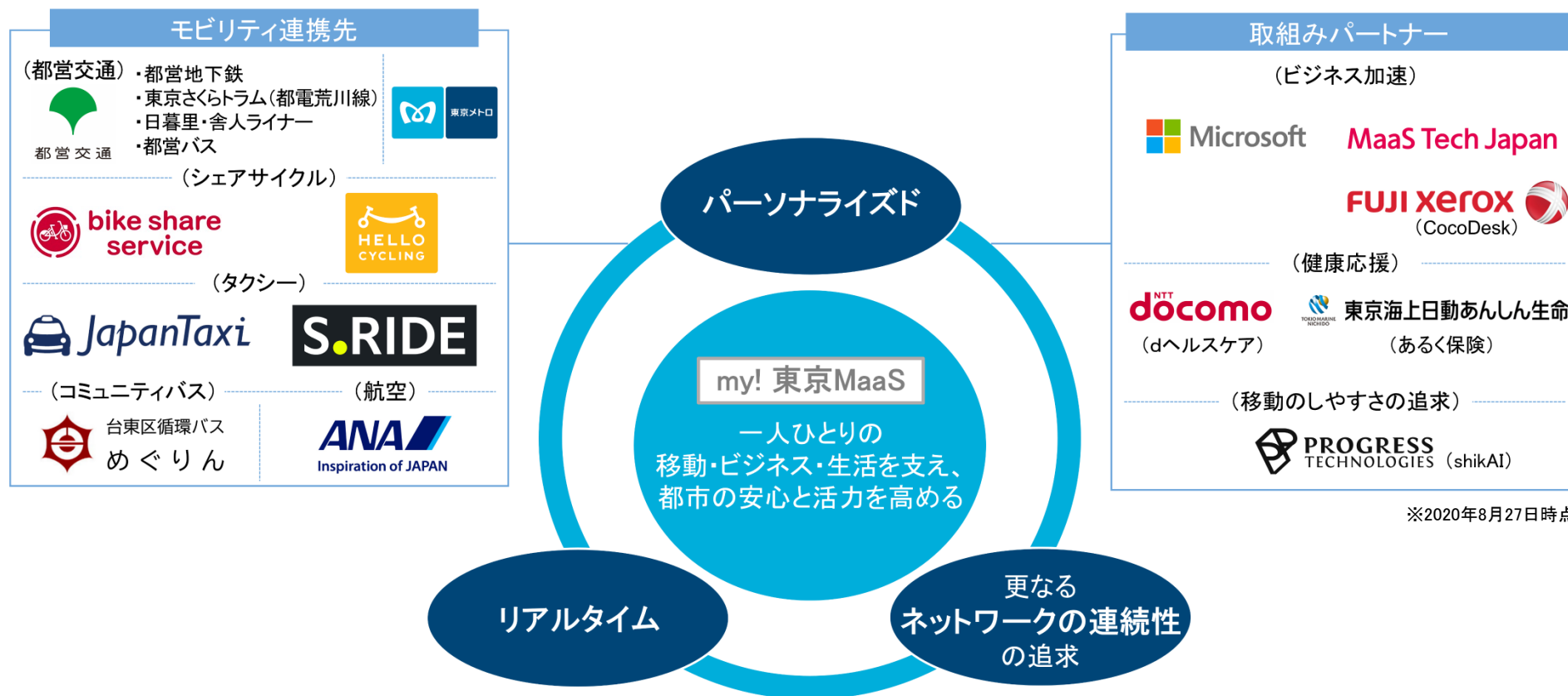
→ お一人おひとりのニーズに、細やかに応える必要がある
- 2 モビリティ、サービスともに、多種多様に揃っている

→ 多様なパートナーとの連携が必要である

# 「my! 東京MaaS」の基本コンセプト

○ MaaSを通じて、東京をもっと「移動しやすく」

○ 多様なパートナーとの連携を通じて、もっと「わたしだけ！」の東京を目指す



※2020年8月27日時点

# 「my! 東京MaaS」を通じて目指す将来像



(1)エレベータールート検索で、「移動をしやすく」します！  
多様なモビリティと連携し、どんな方にも最適なルートをご案内します！

全駅：2021年度下期

地下鉄間で連携  
都営交通  
ANA Inspiration of JAPAN  
航空と連携  
タクシーと連携  
JapanTaxi S.RIDE  
「baby metro」「shikAI」とも連携  
PROGRESS TECHNOLOGIES (shikAI)

(2)「ひと駅〇〇検索」で、健康促進を応援します！  
例えば、「ひと駅歩く」や「ひと駅サイクル」など。  
あなたにぴったりの健康移動を！

2020年度下期

「ひと駅歩く」  
健康ポイント還元サービスや  
健康増進型保険と連携  
「ひと駅サイクル」  
シェアサイクル  
と連携  
docomo bike share  
東京海上日動あんしん生命 (あるく保険)  
dヘルスクエア

(3)スケジュール連動で、ビジネスの空き時間に新たな移動価値を！  
予定表を踏まえ、スキマ時間にリモートワークできるスペースを提案。  
リアルタイムな運行情報とも連動し、万一の遅れもお知らせします。

共同検証開始：中長期

Outlook予定表の空き時間  
を踏まえた移動提案  
個室型ワークスペース  
と連携  
リアルタイム情報を活用  
(遅れがあればお知らせ)  
FUJI XEROX (CocoDesk)  
MaaS Tech Japan

(4)東京のすみずみまで、ご案内します！  
多様なモビリティと連携し、東京を周遊しやすく。  
「東京を楽しむ」をサポートします！

2020年度下期

デジタルクーポン  
デジタルクーポンで、飲食店などの割引も。(街ぐるみイベントなどで活用)  
エリア内の交通手段や  
沿線地域、地元産業と連携  
奥浅草エリア  
多様なモビリティと  
経路検索で連携し、  
回遊性を向上します  
都営交通  
・都営地下鉄  
・東京さくらトラム  
・都営バス  
HELLO CYCLING  
台東区循環バス  
めぐりん



## my! 東京メトロmy!アプリ

東京をもっと移動しやすく、  
もっと「わたしだけ！」の東京へ



※「東京メトロmy!アプリ」と、既存の「東京メトロアプリ」は、  
当面の間、両方ともご利用いただくことが可能です。  
※両アプリは統合予定です。時期が決まり次第お知らせします。

※iPhone, App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。  
※Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

# 「my! 東京メトロmy!アプリ」の主な機能について



## 運行情報・列車走行位置

- リアルタイムな運行情報  
15分以上の遅れがある場合、  
運転見合わせ・折り返し運転  
時等は画面表示が切り替わる。



- 列車走行位置  
4秒間隔で走行位置を自動更新。  
また列車の行き先を分かりやすく表示。



## マルチモーダル経路検索

- 更なるネットワークの連続性の追求  
首都圏の経路検索について、鉄道、  
バス、タクシー、シェアサイクルに  
加え、地上の徒歩ルートまで対応し、  
出発地から目的地までの検索が可能。



## 列車内や改札口の混雑状況

- 列車内の混雑状況  
東京メトロ全9路線の列車内342区間の  
混雑情報を表示。
- 改札口の混雑状況  
東京メトロの管理駅171駅すべての  
改札口の混雑情報を表示。



# 東京メトロのバリアフリーに関する主な取組みについて

## ホームドアの整備

- お客様と列車との接触事故等を防止するため、2025年度までに全駅にホームドアを設置します。
- 東京メトロは全9路線中7路線で相互直通運転を行っており、7路線では車両のドア位置及びドア幅が異なる列車で運行されているため、車両の規格の統一または規格が異なる車両へ対応できる大開口ホームドアを採用しています。

路線名	整備状況	設置駅	路線名	整備状況	設置駅
銀座線	全駅整備完了	全駅	有楽町線	全駅整備完了	全駅
丸ノ内線	全駅整備完了	全駅	半蔵門線	14駅中 10駅 整備完了	渋谷駅、表参道駅、 青山一丁目駅、永田町駅、 半蔵門駅、九段下駅、 大手町駅、三越前駅、押上駅 他
日比谷線	22駅中3駅 整備完了	秋葉原駅、虎ノ門ヒルズ駅、 中目黒駅	南北線	全駅整備完了	全駅
東西線	23駅中9駅 整備完了	高田馬場駅、早稲田駅、 神楽坂駅、飯田橋駅、九段下駅、 竹橋駅、大手町駅、日本橋駅、 門前仲町駅	副都心線	全駅整備完了	全駅
千代田線	全駅整備完了	全駅			

全180駅中143駅整備完了<整備率79%>

※2020年8月末日時点

1



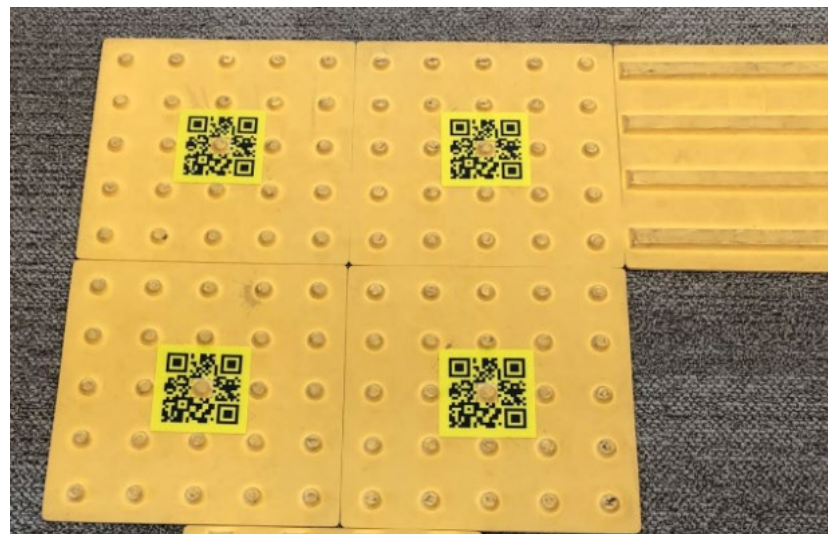
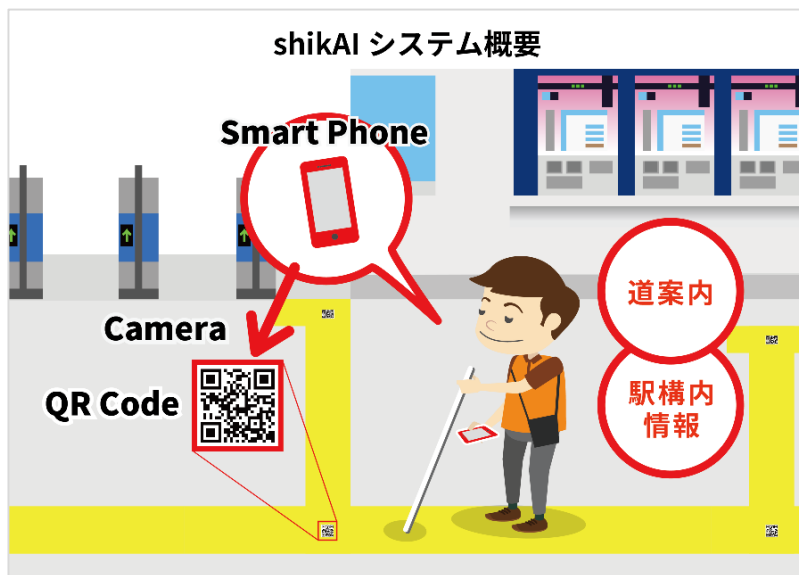
2



- ① 大開口ホームドア（東西線）
- ② 虎ノ門ヒルズ駅のホームドア

## shikAI

- 視覚障害者向けナビゲーションシステム「shikAI」については、リンクス株式会社（プログレス・テクノロジーズ株式会社から2020年9月に分社化）の開発に協力しています。
- 駅構内の点字ブロックに設置したQRコードを認識し、アプリの音声で行きたいところまでスムーズにナビゲーションする仕組みです。これまで体験いただいた方々からの期待も大きく、安心してご利用いただけるよう実用化を目指しています。



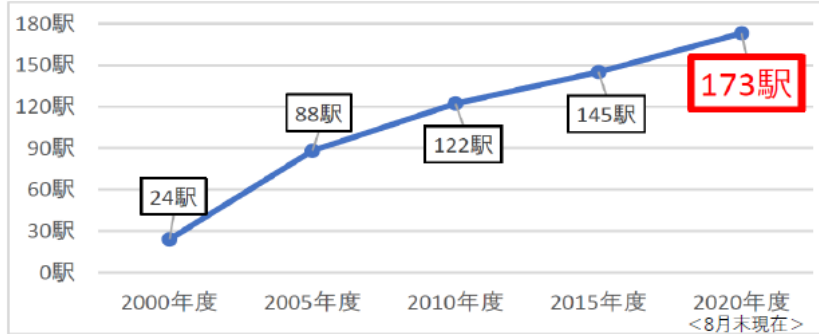
点状の警告ブロック上にQRコードを設置

## エレベーターの整備

- ご高齢のお客様やお身体の不自由なお客様が【地上⇄地下】をシームレスに安心してご利用いただけるよう、全駅エレベーター1ルート、複数路線が乗り入れる駅での乗換や病院に近い駅等で複数ルート整備を進めています。
- 少ない待ち時間でご利用いただけるよう、新たに設置するエレベーターの大きさは20人乗りを基本としています。



全180駅中173駅（整備率96%）  
<2020年8月末現在>



2020年8月末現在、エレベーター1ルートが整備されている駅は全180駅中173駅となっています。

## プラットフォームと車両床面の段差・隙間の縮小

- 車いす等をご利用のお客様の円滑な乗降を目的に、プラットフォームと車両床面のホーム段差・隙間を可能な限り縮小するよう整備を進めています。
  - 段差縮小については車両床面の低床化やプラットフォームの嵩上げ、隙間縮小についてはプラットフォーム先端部へのくし状ゴム設置を2020年9月末までに7路線78駅で整備完了しています。
- ※整備状況は当社ホームページ等において公表しています。



※段差については車両の乗車率や車輪摩耗等により車両ごとに状況が異なります。  
※施工箇所は、路線及び駅の状況等により車両の車いすスペースが停車するプラットフォームの一部を整備します。

## 新型車両の導入

- 新型車両の導入や既存車両のリニューアル工事に合わせて、フリースペース（車いすやベビーカーをご利用のお客様にも便利にご利用いただけるスペース）を設置した車両の導入を進めています。
  - 2021年度までに4路線（丸ノ内線、有楽町線・副都心線、半蔵門線）において、1編成の全車両にフリースペースが整備された新型車両の導入を予定しています。
- ※日比谷線については、2020年度に新型車両の導入が完了しました。



# 東京メトロのバリアフリーに関する主な取組みについて

## スムーズメトロ

○ 車いす等をご利用のお客様をはじめ、ご高齢のお客様やお身体の不自由なお客様の駅構内における円滑な移動を目的として、ホームと車両の段差・隙間情報、駅構内のバリアフリー移動経路情報及び車いす対応トイレ情報を、わかりやすく掲載しています。

### 駅検索・履歴

駅名を入力  
履歴から各駅の情報に直接飛べる。



### 駅情報

◎、○、△、×で駅構内のバリアフリー移動経路、車いす対応トイレまでの移動経路、ホームと車両床面の段差・隙間の状況が分かる。



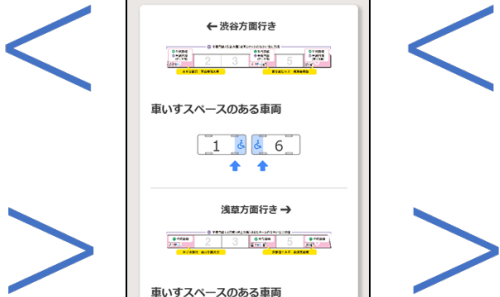
### 乗車位置案内

車いすスペースがある車両について、ホームと車両床面の段差・隙間が目安値を満たしているか分かる。



### 地図・構内図

エレベーターが地上のどこに出るのか地図で分かる。バリアフリー移動経路と車いす対応トイレの場所が分かる。



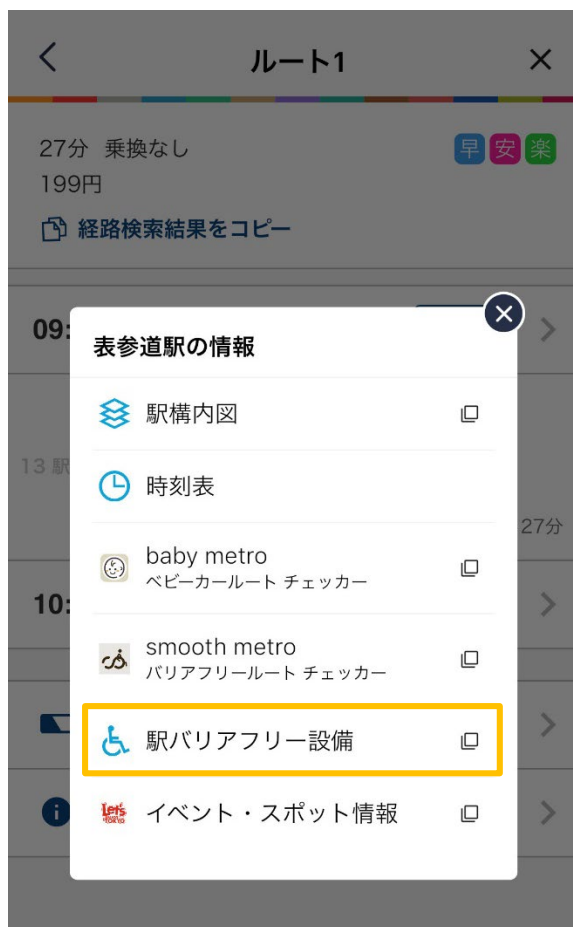
# 東京メトロのバリアフリーに関する主な取組みについて

## 東京メトロmy!アプリでのバリアフリー設備情報の表示

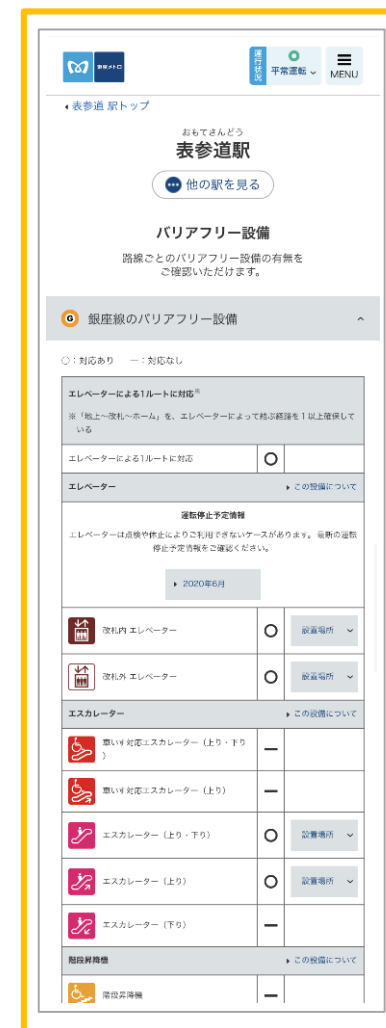
### 経路検索の画面



### 駅ごとにポップアップが表示

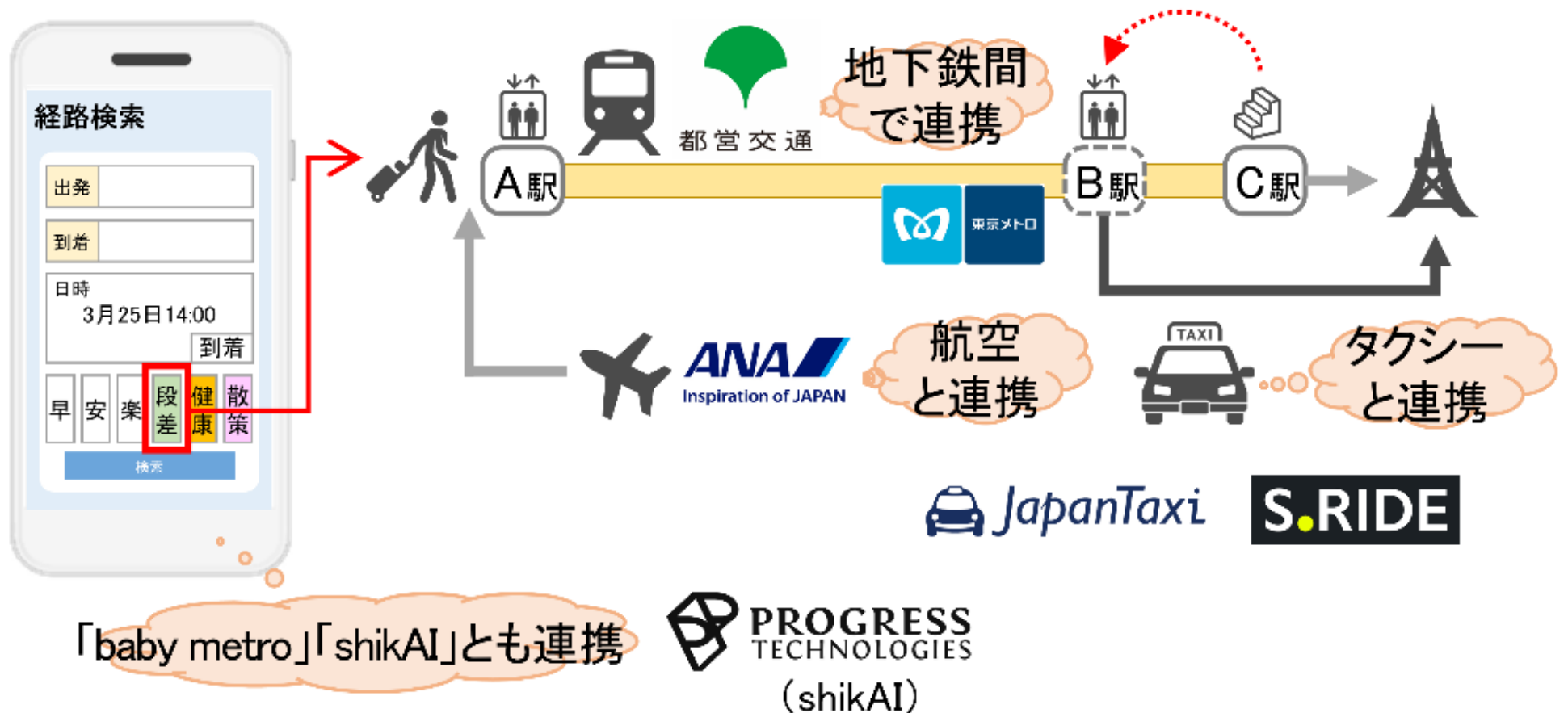


### バリアフリー設備情報表示



# 東京メトロのバリアフリーに関する主な取組みについて

エレベータールート検索機能 (2021年度下期)





「安心で快適な移動・ビジネス・生活」の

提供を目指し、お客様お一人おひとりの

“新たな日常”を将来にわたってサポートします。

